

埼玉県生協連 第54回通常総会

行政・県議会・友誼団体からのご祝辞



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

CO-OP

埼玉県生活協同組合連合会

埼玉県生協連は、2025 国際協同組合年に賛同しています





埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会に寄せて

埼玉県知事 大野 元裕

本日ここに、埼玉県生活協同組合連合会の第54回通常総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

吉川尚彦会長理事をはじめとする貴連合会の皆様には、消費者の暮らし、医療・福祉、共済事業など様々な分野で県の消費者行政の推進に格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は国連が定めた国際協同組合年です。加盟国には、協同組合の人間らしい雇用の創出、貧困と飢餓の解消などへの貢献を支援することが求められています。これを契機に、協同組合の役割や価値、活動などが県民の間に広く認知され、協同組合間の連携や活動が更に活発化する、そのような好循環が県内で生まれることを大いに期待しています。

また、多くの生協組合員の皆様には、高齢者等の消費者被害の未然防止・早期発見のため、地域での見守り活動や啓発活動を行う「消費者被害防止サポーター」に御参加いただいています。これまで貢献いただきましたことに心から感謝申し上げますとともに、引き続きの御協力をよろしくお願い申し上げます。

現在、本県は「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という時代の転換期における二つの歴史的な課題に直面しています。本年は、これらの歴史的な課題を的確に捉えた中長期的な施策を、先手を打って展開し、今後、埼玉県が持続的に成長・発展していく未来に向けた飛躍の年にしたいと考えています。

そのために、イノベーションを創出する拠点「渋沢MIX」の開設をはじめ埼玉版スーパー・シティプロジェクトやサーキュラーエコノミーの更なる推進、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組、埼玉版FEMAの充実などあらゆる施策を力強く進め、「日本一暮らしやすい埼玉」を目指してまいります。

これまで、相互扶助・助け合いの精神の下、安心して暮らし続けられる地域社会づくりを実現するために様々な取組を実践してこられた御参会の皆様には、引き続き、格別のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会のますますの御発展と皆様方の更なる御健勝、御活躍を心から祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。



埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会に寄せて

埼玉県議会議員 白土 幸仁

埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

埼玉県生活協同組合連合会の皆様には、長年にわたり県内の生活協同組合の取りまとめ役として、加盟生活協同組合の事業の振興と発展を通じ、県民の暮らしの向上に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年私たちは、人口減少・少子高齢化やそれに伴う労働力人口の減少、エネルギーや食料品等の物価高騰、社会構造の変化に伴う地域社会のつながりの希薄化といった、これまで経験したことのない多くの課題に直面しています。

特に本年は、2025年問題と呼ばれる、団塊の世代がすべて75歳以上の高齢者となることに加えて、昨年の出生数が過去最少となるなど、少子高齢化が加速度的に進行しており、厳しい局面を迎えています。

こうした状況の中、貴連合会には、14の生協、230万人あまりの組合員が加入されており、商品供給や共済をはじめとした各組合員の多様なニーズに応え、暮らしを支えていただいている皆様の事業は、県民が安心して暮らし続けることができる地域社会を実現していく上でなくてはならない存在となっています。また、助け合い活動、生活支援活動、居場所づくり、健康づくり、防災・減災の取組といった、相互扶助の精神に基づく、組合員同士の交流や地域とのつながりを生かした様々な活動は、地域ネットワークの一翼として大変大きな役割を担っていただいております。

皆様におかれましては、これからも様々な分野の課題解決に向けて力を結集するとともに、地域社会や行政とさらに連携を深め、県民のよりよい暮らしの実現のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県議会といたしましても、県民が安心して暮らし続けることができる地域社会の実現に向け、未来志向の施策を展開できるよう全力で取り組んでまいります。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会及び各生活協同組合のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。



埼玉県生協連第 54 回通常総会 ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 田村 琢実

埼玉県生活協同組合連合会第 54 回通常総会が開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。

吉川尚彦会長理事をはじめ、貴連合会の会員の皆様におかれましては、日頃より食の安全や環境問題に対する支援、消費者被害防止支援、生活困窮者への支援と多岐にわたる事業を通じ、県民が安心・安全に暮らせる持続可能な社会づくりにご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

そして、このたびの八潮市における道路陥没事故により、長期に渡り行方不明となっていた被災者の方とそのご遺族に対し、心よりお悔やみを申し上げるとともに、救助活動にご尽力をされた関係者の皆様および水道の利用規制にご協力を賜りました、近隣住民の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、我が団は昨年、県議会において 4 本の議員提案政策条例を制定させていただきました。

その中の条例の 1 つである、『こども若者基本条例』は、「こども・若者の権利が保障され、全てのこども・若者が主体性を持って、自分らしく、健やかに、かつ幸せに成長することができる社会の実現」、ならびに「保護者・養育者、そしてこれからこども・若者を養育しようと思う方も、こどもの健やかな成長や子育てに希望や喜びを感じられる社会の実現」を目指すという理念のもと、策定させていただいたものとなります。

これらの社会を実現するためには、日頃より、安全かつ安心できる地域コミュニティづくりに向け、取り組みを継続されている、貴連合会の皆様のお力添えがあつてこそ、成り立つものであると存じます。

我が団としても、引き続き、国や県に向けた、老朽化する下水道や道路などの社会インフラに対する財政拡充の要請をはじめ、団員の一人ひとりが責任会派であるという自覚のもと、県民の安心・安全の確保に向けた施策展開に全力を尽くしてまいります。

結びに、埼玉県生活協同組合連合会のますますの御発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。



埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会 ご挨拶

埼玉民主フォーラム

代表 木村 勇夫

埼玉県生活協同組合連合会 第54回通常総会のご盛会、誠にありがとうございます。日頃より、地域に根ざした活動を通じて、県民の暮らしと福祉の向上にご尽力いただいていることに、埼玉県議会埼玉民主フォーラムを代表して、心より敬意と感謝を申し上げます。

現在、県民生活を取り巻く環境は、物価高騰、少子高齢化、災害リスクの増加、地域のつながりの希薄化など、さまざまな課題を抱えています。そうした中で、生協の皆様が取り組まれている食の安全・安心、子育て支援、高齢者見守り、環境保全、防災対策などの活動は、まさに地域におけるセーフティネットとして、重要な役割を果たしていると認識しています。

私たち埼玉民主フォーラムは、こうした生協の皆様の現場の声に常に耳を傾け、毎年の意見交換会を通じて、生活者・消費者の視点に立った政策提案に取り組んでまいりました。皆様との対話は、県政の課題をより深く理解し、現実に即した施策づくりを進めるうえで大きな財産であり、今後もこの貴重な機会を大切にしていきたいと思います。

2025年度の埼玉県政では、「誰一人取り残さない共生社会」の実現を目指し、生活困窮者支援や孤立防止、若者・高齢者の雇用支援、医療・福祉の充実、地域経済の再生などに重点的に取り組んでいく方針です。これらの課題に立ち向かううえで、生協の皆様がこれまで培ってこられた地域ネットワークと実践知は、行政にとっても心強いパートナーであり、今後ますますの連携・協働が期待されます。

また、脱炭素社会の実現やフードロス削減など、持続可能な社会づくりに向けた取り組みにおいても、生協の果たす役割は極めて重要です。埼玉民主フォーラムとしても、環境・福祉・地域経済を横断的に支える生協の力を、未来志向の政策にしっかりと活かしていきたいと考えています。

結びに、本総会のご成功と、埼玉県生協連のさらなるご発展、そしてご参会の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

埼玉県生活協同組合連合会第 54 回通常総会 ご挨拶



埼玉県議会公明党議員団

団長 蒲生 徳明

埼玉県生活協同組合連合会の第 54 回通常総会の開催、心よりお慶び申し上げます。皆様は、地域の健康づくりや環境保全、社会貢献など、多岐にわたる活動を展開しており、心から敬意を表します。

私達、埼玉県議会公明党議員団も、2月3日に埼玉生協連の代表の皆様との懇談の席で、皆様の活動状況や課題等について、意見交換をさせていただきました。

県生協連の皆様は、様々な分野で本県と連携を取り、活動を進めております。

例えば、県との定期協議を通じて、若者や高齢者への消費者教育やインターネット関連のトラブル防止策、又、災害時の連携や体制強化としての災害時の生活物資等の配布、その他、SDGs の推進や地域福祉、子育て支援等、幅広い分野で地域社会の課題解決や、地域住民の生活向上に貢献されております。

埼玉県政の課題については、私も本年、代表質問で取り上げましたが、人口減少・超少子高齢化社会への対応、災害対策と防災体制の強化、交通インフラの整備と渋滞対策、脱炭素・環境対策、そして教育・子育て環境の充実、その他を含めて取り組むべき諸問題は山積しております。

そして何よりも生活現場発の課題や、地域課題も多くあります。これらの諸課題の解決においては、正に、多方面で、県と連携を取りながら地域密着の活動されております皆様に、多くの県民も期待されていると思います。

埼玉県生協連に期待する点をいくつか挙げるとすれば、高齢者の見守り活動の強化や地域包括ケアとの連携による在宅介護支援、子育て支援情報の発信と利便性の向上、又、災害時の物資供給体制の強化や環境教育・啓発活動等の更なる展開等が挙げられます。

埼玉県生協連の皆様は、地域に根ざした組織として、「くらしの安心・安全」と「共助の仕組みづくり」に強みがあります。県政の課題に対して、行政・企業・NPO とのパートナーシップを深化させながら、共助の担い手として多方面で、今後更なる活躍が期待されると思います。

最後に、埼玉県生活協同組合連合会の更なるご発展と、会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。



埼玉県生協連の更なる発展を願って

埼玉県議会 無所属県民会議

代表 井上 航

埼玉県生活協同組合連合会 第54回通常総会の開催、誠におめでとうございます。
貴連合会の皆様には、日頃より様々な事業を通して、食の安全や環境問題・消費者行政への協力などに取り組んでいただいていることに心より感謝を申し上げます。

さて、埼玉県では5月25日、秩父ミュージックパークにて「第75回全国植樹祭」が開催されました。天皇陛下のご臨席を賜り、式典は滞りなく執り行われました。本大会では森林資源の活用、木座の利用拡大を図る『活樹』の重要性を埼玉から発信しました。

貴連合会の会員である「生活協同組合パルシステム埼玉」には、令和5年度から2カ年に渡って孤立した子育てやワンオペ育児などを防止するため、子どもが出生した世帯に対してギフトを贈る「埼玉県子育てファミリー応援事業」にご協力いただきました。その中には、私たち会派が提案した「県産木材を使った木製おもちゃ」を選べる市町村もあり、貴会員が届けてくれた木製おもちゃが、県民の植樹祭や活樹の取り組みへの関心の高まりの一助となったと確信しております。

また、昨今のコメ不足や価格高騰にもいち早く取り組み、少しでも多くの消費者に行き渡るよう様々な工夫を凝らしていただいていることも承知しております。私も生協を利用する一消費者として大いに助けられており、改めて貴連合会の取り組みに御礼申し上げます。

食の安心・安定供給のほかにも、こどもの居場所づくりや消費者被害防止など様々な課題についても、我が会派と毎年意見交換を重ねていただき、昨年10月には貴連合会の要望も反映した「令和7年度 埼玉県予算編成に関する要望書」を大野知事に提出しました。

今年度、私たちが重視する政策は「子どもや障がい者等、社会的弱者への支援」「大震災や近年激甚化している水害等、災害への備え」「超少子高齢社会を見据えた人材育成・確保策の推進」の3本柱です。まさに貴連合会の目指す社会ともリンクする部分が多くあると考えております。私たちは“県民会議”の名の通り、県民の声を大切に県政発展に取り組んでまいります。

結びに、貴連合会の更なるご発展と会員の皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶といたします。



第 54 回生協連総会へのメッセージ

日本共産党埼玉県議会議員団
団長 城下 のり子

埼玉県生活協同組合連合会第 54 回総会のご開催、誠におめでとうございます。
昨年、核兵器の非人道性を語り継ぎ、核廃絶の必要性を唱えてきた日本原水爆被害者団体協議会（被団協）のみなさまがノーベル平和賞を受賞するといううれしいニュースがありました。被団協のみなさまの活動とそれを支えてきた生協連のみなさまの活動が受賞につながったと感じています。いのちと平和を守るみなさまの活動に心より敬意を表すものです。

現在、ウクライナ侵略をするロシアが核兵器による威嚇を繰り返しています。またイスラエルの閣僚が、「パレスチナ自治区ガザに核爆弾を落とすのも選択肢の一つだ」と発言するなど、再び戦争で核兵器が使われる危険性が高まっています。それだけに核兵器使用の手を押え、核兵器禁止の合意をせまることが喫緊の課題となっています。

しかし日本政府は、唯一の戦争被爆国でありながら、核兵器廃絶に背を向けています。日本共産党は禁止条約参加に踏み出す政治を実現するために力を尽くします。ぜひ一緒に核兵器廃絶の運動を広げてください。

日本国内に目を向けますと物価高騰が暮らしと営業を直撃しています。日本共産党が取り組んでいる「要求対話」「要求アンケート 2025」には暮らしの不安と苦しさを訴える声が圧倒的です。

しかし埼玉県は 2026 年度から県水を約 21%引き引き上げます。県内市町村の 9 割は県水を購入しており、県水の引き上げは市町村の水道料金引き上げにつながります。

党県議団は 12 月議会の一般質問でこの問題を取り上げ、2023 年度決算で約 1 2 億円の純利益を上げ、内部留保が積みあがっていることを指摘。内部留保の取り崩しや一般会計からの繰り入れなどで、料金引き上げをやめるべきと迫りました。

下水道についても関係市町の負担金引き上げが次々と実施されています。

市町村に対する負担金ではありますが、多くの自治体がこれに連動して下水道料金を引き上げることは必至です。命に直結する問題であり、引き続き全力で取り組んでまいります。

みなさまのますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、総会へのご挨拶とさせていただきます。



埼玉県議会 無所属改革の会

中川 浩

近所のスーパーで、万引きと思われる人を見つけたので、警察に捕まえて頂いたところ、振り込め詐欺の『出し子』である事も分かりました。こんな身近な所に居る事が、改めて衝撃的でした。

◆リースバック制度を悪用した自宅『押し買い』被害 県内でも

悪質・強引な訪問営業により、売却意思の無い自宅を、相場の例えば1/3の安値で買い取る『押し買い』。自宅売却後も賃貸でそこに住み続けられる『リースバック』という制度自体は正規のもの。しかし「売却後も住み続けられる」と言われても定期借家契約（更新無し）の説明が無く、後に立ち退きを迫られたり、売却額が安い為に家賃を払い続けられなくなる被害。

埼玉県内での相談件数は令和2年に38件、令和5年には72件となり、増加傾向にあります。県内の具体的な声は「『給水管の点検』を装って訪問されたが、本当の用件は自宅買取りだった」「住み続けるには、買取り提示額があまりにも低い」「夜遅くまで売却のセールスに居座られた」などとなっています。『物価高』などにより、今後生活が厳しく、自宅を手放す人が増える事が予想されるので、県消費生活支援センターから注意喚起されるよう打合せしています。

◆特殊詐欺 最近の県内の特徴（独自調査）

「警察からの電話」と思わせる電話番号の末尾『0110』からの詐欺と思われる発信は、県内でも昨年11月以降、急増しています。

特殊詐欺について県警察本部に、県民の行動変容（具体的に動く事）につながりやすいチラシのデータ作成をお願いし、自治会の回覧板に入れて頂いているのは、単に防犯というだけでなく、自治会に入っているメリットを少しでも直接的に感じて頂き、地域力を維持する為でもあります。

侵入窃盗では、空き家への侵入の割合が増えています（令和3年7%→令和6年31%）。

『闇バイト』との呼び名が、軽い気持ちになってしまう違和感があり、聴いたところ警察では『犯罪実行者募集情報』と呼んでいるそうです。

吉川会長をはじめ県生協連さんには、詐欺対策でご指導を頂いております。

◆私は狭山市から選出頂いている議員である事からも、『再審法』の改正を求め、様々な方々にご協力をお願いしております。



「笑顔」が心を動かす

埼玉新聞社

代表取締役社長 関根 正昌

埼玉県生活協同組合連合会の第54回通常総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、県生協連の皆様におかれましては、日頃、埼玉新聞を職場やご家庭でご愛読賜り、厚く御礼申し上げます。

諸物価の値上がり、人手不足という数年来の逆風に加え、「トランプ関税」をはじめとするトランプ政権の施策が今後の私たちにどのような影響を及ぼすのか、先行きは不透明感を増しています。

そんななか、「良いモノ」「良いサービス」を「多くのひとに」「安定的に」供給するために日夜ご尽力されていらっしゃる生協連の皆様に深く敬意を表します。お会いできる方々は限られていますが、お会いするたびに感じるのは皆様の「心からの笑顔」の美しさです。そうした皆様に「心からのエール」を送らせていただきます。

「フレイフレー生協連！」。

埼玉県生協連第54回通常総会挨拶



埼玉県農業協同組合中央会

代表理事会長 坂本 富雄

埼玉県生活協同組合連合会の第54回通常総会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

本年は、2012年に続いて二度目の「国際協同組合年(IYC)」となります。これを受けて、昨年11月に埼玉県生協連、JAグループさいたまが中心となり「2025国際協同組合年埼玉実行委員会」を発足し、協同組合の価値や現代社会で果たしている役割について、広く認知されるよう取り組んでいくことといたしました。

IYC 2025への取り組みも含めて、JAグループさいたまは生協の皆様と今後もいっそう連携を深め、ともに協同活動を進めてまいりたいと考えております。

貴連合会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



持続可能な地域づくりをめざして！

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
埼玉事業本部 本部長 成田 誠

埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会の開催誠におめでとうございます。また私どもの事業・運動の日頃より多大なるご理解・ご協力心より感謝申し上げます。

また昨年11月16日（土）、17日（日）に開催いたしました、第6回全国地域おこし名人・達人サミット in 桶川・北本や労働者協同組合の普及・啓発のネットワークである、埼玉協同労働推進ネットワークに対して多大なるご理解・ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

今、地域社会はこのままでは放っておけない様々な矛盾・課題が山積みになっています。とりわけ地域の農は崩壊寸前まで来ており、担い手不足はじわじわ進み、令和の米騒動は一時的なものでなく、今後永続的に続く可能性すら叫ばれる事態となっています。そして地域を支える共助の仕組みがほとんど機能しなくなってきている現実がそこかしこから聞こえます。

この事態に真正面から向き合える組織は、日頃より地域と密着して、市民の生活や健康を支え、より良い地域社会づくりに力を尽くす協同組合である生活協同組合であると確信します。今年は折しも国際協同組合年。私どもも協同組合の一員として生協運動とも連携し、協同組合の価値と可能性を高め、混迷の度を深める地域社会の希望の島となるべく共に頑張りたいと考えております。

最後に貴連合会の更なるご発展をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



「国際協同組合年」を機に更なる連携強化を

一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会
理事長 近藤 嘉

埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会が盛大に開催されますこと、心よりお慶びを申し上げます。

今年は、国連が「国際協同組合年」として宣言しております。改めて、労働組合と協同組合が連帯・協同し、労働者自主福祉運動や協同組合運動などの共助の輪を更に広げていきたいと思っております。また、NPOや市民団体等とつながりながら、多くの団体や様々な世代とのつながりを強化していくことも大変重要です。地域の多様なネットワークで支え合い・助け合う、地域共生社会の構築をめざし、関係団体がしっかりスクラムを組んで、労働者自主福祉の取り組みを全力で進めていきましょう。

結びに、埼玉県生協連の益々の発展と会員皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。



持続可能で活力ある地域社会の実現へ

中央労働金庫

常務理事 谷内 聡

埼玉県生活協同組合連合会第54回通常総会の開催、誠におめでとうございます。生協連の皆様が多様なニーズに応じて事業を推進し「助け合い・支え合い」一人ひとりの参加「役割発揮」に尽力されていることと存じます。

私たち中央労働金庫も協同組織の「助け合い・支え合い」が原点にあり、健全で持続可能な福祉金融機関として皆様の「生活応援運動」の役割を發揮し、生涯にわたって安心づくりのサポートをしていく所存です。

ろうきんのメリットを組合員と家族へ「伝え届ける」取り組みにより、生涯にわたって利用してもらえるように努めてまいります。

まだまだ社会の課題は数多くありますが、国際協同組今年としてお互いに連帯して役割を發揮していきましょう。

結びに埼玉県生協連の益々のご発展を心よりご祈念申しあげましてご挨拶いたします。



埼玉県生協連、2025年への期待

特定非営利活動法人フードバンク埼玉

理事長 とよしま 亮介

埼玉県生協連第54回通常総会のご盛況、心よりお祝い申し上げます。

吉川尚彦会長理事をはじめ、会員の皆様の日頃からの地域社会への貢献に深く敬意を表します。

生協連の皆様には、単なる支援の枠を超え、社会課題解決の先頭に立って頂きたいと強く願っております。食料支援を必要とする状況そのものを改善するために、自治体や政府への積極的な働きかけを通じ、具体的な政策実現や連携強化を図っていただくことが不可欠と考えます。

そして、私たちフードバンク埼玉も設立から8年を迎えます。運営規模の適正化など様々な試練に直面しており、こちらも皆様のより一層のご参画が不可欠です。今後とも、フードバンク埼玉へのご理解とご協力をお願いするとともに、社会課題解決に向けた生協連の更なるご活躍を心より期待しております。

2025年度の生協への期待



埼玉県原爆被害者協議会（しらすぎ会）
副会長 高橋 溥

私と「生協」の出会いは50年くらい前でした。仕事が建築の設計なのですが、同業の女性から川崎の生協の店舗造りの相談があり、それが最初の「生協」との出会いでした。今は埼玉県原爆被害者協議会（しらすぎ会）として、「埼玉県原爆死没者慰霊式」をはじめとして、様々な場面でお世話になっております。私事としては家内が病気がちで、毎週届く生協の食材で命を繋いでいます。

今年2025年は「国際協同組合年」、世界中が、協同組合が取り組む衣食住の安全安心の大切さを知らなければなりません。

以前、福祉先進国のスウェーデン・デンマークを訪ねたことがあります。衣食住、そして生きることへの取り組み、生まれて死ぬまで安心して生き終われる国だと感じました。同じように生協の理念、取り組みは戦争無き世界平和の実現への具体的取り組みと考えます。大いなる理想の進展を願います。

絆を強く



埼玉県地域婦人会連合会
会長 柿沼 トミ子

埼玉県生協連第54回通常総会の開催、誠におめでとうございます。

さて、現在、世界中がアメリカ合衆国トランプ大統領の関税問題を始めとする言動に振り回されております。日本もその影響を大きく受けており、国民の多くはその成り行きを、固唾を呑んで見守っております。又、足元を見れば、円安、輸入原料不足、人件費高騰等がその要因と言われますが、相次ぐ物価高に襲われている毎日です。更に何にも増して暮らしの不安を高めているのは、主食米の不足とその価格高騰です。戦争が絶えない世界で、食糧が外交カードになる時代であり、この状況は恐ろしいことです。

このような中であって頼りになるのは、生協連の皆様のご活動です。私たち婦人会は、これまでも良きパートナーとして連携し、より良い地域社会づくりに努めてまいりました。今後も益々絆を強めて活動を広げてまいりましょう。貴会の更なる御発展を願ってやみません。



平和な世界を求めてともに

新日本婦人の会埼玉県本部
会長 高田 美恵子

埼玉県生協連第54回通常総会の開催、おめでとうございます。

みな様の消費者の立場に立った様々な活動に敬意を表します。

他国への攻撃を続けるイスラエルとロシア、関税の脅しと取引がすべてのトランプ政権に怒りと恐怖を感じます。しかし、国際ルールを無視する無法が続くはずがありません。日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核兵器の非人道性を訴え続けてきた被爆者の皆さんの活動が認められただけでなく、世界が平和と核兵器廃絶を求めていることの現れです。

今年は国際協同組合年、平和、格差と貧困、社会保障、物価高騰、気候変動、ジェンダー平等など多くの課題がある中、地域で助け合いの輪を広げる生活協同組合の活動が、今こそ求められています。

平和を願う世界の人々と連帯し、持続可能な社会をめざし、共に歩んでまいりましょう。



すべての子どもたちに平和な未来を！

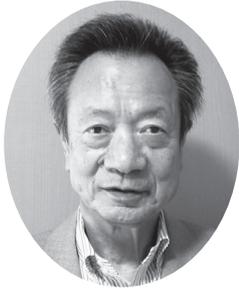
埼玉母親大会連絡会
代表委員 常盤 智子

埼玉県生協連第54回通常総会ご盛会おめでとうございます。

生協連の皆様とは消団連や消費者大会でお世話になっています。地域課題の解決に向け行政・諸団体と連携し、より一層豊かな地域社会をめざして取り組んでおられることに、心から敬意を表します。また、母親大会成功のため、ご支援ご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。

母親大会は1954年ビキニ水爆実験で第五福竜丸はじめ多くの漁船が被災した事を機に「核戦争から子どもを守りましょう」と始まりました。日本被団協のノーベル平和賞受賞を力に、子どもたちに平和な未来を手渡すために、平和を願う世界の人々と連帯し、持続可能な社会を実現させてまいりましょう。

貴会の益々のご活躍を期待します。



生協連の地域社会づくりに期待して

埼玉公団住宅自治会協議会

会長 竹村 正

埼玉県生協連第54回通常総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

埼玉の地域において、助け合い活動、生活支援活動、居場所づくり、健康づくり、防災・減災の取り組み、消費者被害防止活動など安心できる地域コミュニティの活動を続けてきたことに、心から敬意を表します。

私たち埼玉公団住宅自治会協議会も「住まいは福祉・住まいは人権」「国民誰もが安心と豊かさを実感できる住宅政策を」を合言葉に長い間活動を続けてきました。これまでの運動で勝ち取った成果の上に、公営住宅の供給促進と家賃補助制度創設の実施を要求していきます。共にがんばりましょう。

埼玉県生協連の更なるご発展とご活躍をご祈念申し上げます。



埼玉県生協連第54回通常総会挨拶

さいたま市消費者団体連絡会

代表 廣田 美子

埼玉県生協連第54回通常総会の開催、おめでとうございます。

昨年から続く令和の米騒動は落ちつく気配がありません。物価高で生活が困窮する人も増加傾向です。また、地球温暖化の影響や世界では紛争で苦しむ人々も増える一方です。

今年は国際協同組合年でもあり、日頃から平和や環境問題、食の安全に積極的に取り組まれてこられた生協連には強いリーダーシップで協同組合や生産者、消費者団体を引っばって頂ければ幸いです。私たち消費者団体も微力ながら一緒に活動を広げていきたいと思っております。今後とも一緒に歩んでいけるようご指導ご鞭撻よろしくお祈り致します。

埼玉県生協連の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

埼玉県生活協同組合連合会

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5
Tel 048-844-8971 Fax 048-844-8973
HP : <https://skenren-coop.jp>

